

企画展のご案内

えっざんじゃくすい

越山若水が育んだ美

—福井県立美術館・若狭歴史博物館名品展—



※「越山若水」は福井の美しい自然を表す言葉です。明治43年（1910）に皇太子（のちの大正天皇）が福井に行啓した際の記念の写真集のタイトルで福井県が発行しているものが最初に使われたと言われており、福井新聞では「越山若水」を明治44年10月から論説のタイトルとして使われています。福井県民にとっては「越山若水」は馴染みの四字熟語であり、県を象徴する言葉として歴史が紡がれています。

重要美術品

岩佐又兵衛勝以《三十六歌仙図 中務》

江戸時代（17世紀）福井県立美術館蔵 *後期展示

展覧会名	越山若水が育んだ美—福井県立美術館・若狭歴史博物館名品展—
会場	岐阜県美術館 展示室3（岐阜市宇佐4-1-22）
会期	令和5年10月14日（土）－12月3日（日） 10:00－18:00 前期：10月14日（土）－11月5日（日） 後期：11月7日（火）－12月3日（日） ※前期・後期で展示作品の一部が替わります ※休館日：毎週月曜日（祝日の場合は翌平日） ※夜間開館：10月20日（金）、11月17日（金）は20:00まで ※展示室の入場は閉館の30分前まで
料金	一般 1,000（900）円 大学生 700（600）円 高校生以下無料（ ）内は20名以上の団体料金 ※身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳、特定医療費（指定難病） 受給者証の交付を受けている方およびその付き添いの方（1名まで）は無料
主催	岐阜県美術館 岐阜新聞社 岐阜放送
後援	朝日新聞社 NHK 岐阜放送局
協力	福井県立美術館 福井県立若狭歴史博物館
助成	この展覧会は公益財団法人田口福寿会の助成を受けています。



芸術文化振興基金助成事業

開場式、内覧会

令和5年10月13日（金）17:30－19:00（受付開始 17:00－）

会場：岐阜県美術館 多目的ホール

※開場式終了後、展示会場へご案内いたします。

本資料に関するお問い合わせ



〒500-8368 岐阜市宇佐4-1-22

TEL 058-271-1314（学芸部） FAX 058-271-1315

URL: <https://kenbi.pref.gifu.lg.jp>広報担当：後藤正行
担当学芸員：守屋靖裕
北泉剛史
青山訓子県美術館
Webサイト

美術館の情報を発信しています



公式Facebook



公式Instagram



公式Twitter

E-mail: kouhougifukenbi@govt.pref.gifu.jp

本展覧会について

福井県立美術館は昭和 52 年（1977）の開館以来、展覧会等様々な事業を展開してきました。岡倉天心ゆかりの画家たちの作品、中近世及び近現代の福井ゆかりの作家の作品、ヨーロッパの作家の版画、ニューヨークで貿易商を営んだ岡島辰五郎氏が収集した工芸品などを含む、数多くの名品を所蔵しています。

昭和 57 年（1982）に開館した福井県立若狭歴史民俗資料館は、平成 26 年（2014）に常設展示を一新し、福井県立若狭歴史博物館としてリニューアルオープンを果たしました。若狭地域の歴史や文化について、地元の貴重な文化財を紹介しています。

令和 3 年度、福井県立美術館にて隣接する福井と岐阜、両県文化交流のシンボルとして両県立美術館の連携による展覧会「ももきねの美 清流の旅 ～日本画の巨匠と陶芸の人間国宝～ 岐阜県美術館名品展」を開催しました。

令和 5 年度は岐阜県美術館にて、交換展として「越山若水が育んだ美—福井県立美術館・若狭歴史博物館名品展—」を開催します。仏教美術、日本画を中心に、福井県立美術館のコレクションから選び抜いた名作や、寄託を受けている文化財、福井県立若狭歴史博物館の収蔵品を展示します。国指定重要文化財を含む越前と若狭の名品をご堪能ください。

展覧会の見どころ

■福井県立美術館・若狭歴史博物館から名品が岐阜県に来る

福井県立美術館と福井県立若狭歴史博物館が誇る名品を、岐阜県美術館で鑑賞できるチャンス。（前期・後期で展示作品の一部が替わります）

■国指定重要文化財や重要美術品、福井県指定有形文化財などの文化財も展示

重要文化財の良全《仏涅槃図》（本覚寺蔵（福井県立美術館寄託））や《世界及日本図》（福井県立若狭歴史博物館蔵）をはじめとする指定文化財も美術館で展示します。

＊《仏涅槃図》は前期展示

＊《世界及日本図》のうち

《世界図》は前期展示、《日本図》は後期展示



重要文化財 《世界及日本図》桃山時代(16～17 世紀)
福井県立若狭歴史博物館蔵

■6 世紀から 20 世紀まで幅広く美術作品を展示

中国・北齊時代、天統元年（565）の《観音菩薩立像》（福井県立美術館蔵）から、平成 4（1992）年の元永定正《作品（仮題）》（福井県立美術館蔵）まで、時代を越えた名品の数々を紹介します。

■著名な作家の作品を多数展示

岩佐又兵衛勝以や狩野芳崖、横山大観、加山又造などの作品を展示します。

■ 展覧会構成

第一章 信仰の美術

福井県立美術館は鎌倉時代から室町時代の仏画を所蔵しています。また、県内の寺院からは文化財の寄託も受けています。この中から仏画の名品をセレクトして紹介します。福井県立美術館が所蔵する工芸品からは《五彩羅漢文盤》を、そして、白山信仰に関係する作品として能面を出品します。福井県立美術館の所蔵品の中で重要な位置を占める岡島コレクションからは、中国・朝鮮の小金銅仏を展示します。

若狭地方には、古い時代に造られた仏像が多く現存し、とりわけ平安時代の優れた仏像が数多く遺されています。福井県立若狭歴史博物館の所蔵品・寄託品の中から仏像の名作を展示します。

重要文化財

良全《仏涅槃図》 嘉暦3年(1328) 本覚寺蔵(福井県立美術館寄託)

*前期展示 写真提供:福井県立歴史博物館



第二章 中近世絵画

この時代は、越前朝倉氏の御用絵師を務めて室町時代から江戸時代中期に活躍した曾我派、福井藩主の二代松平忠直・三代忠昌のもとで江戸時代初期に活動した岩佐又兵衛勝以と岩佐派の絵師などによって彩られます。

曾我派は、越前朝倉氏の家臣の家に生まれた曾我蛇足(生年不詳~1473)が親交のあった大徳寺の僧、一休宗純から「墨溪」の雅号を受けて始まった流派です。宗丈、紹仙、宗誉、紹祥と五代まで続いたと考えられ、「蛇足六世」を名乗った曾我直庵とその子とされる曾我二直庵もいます。岩佐又兵衛勝以は、奇想の画家として注目を集めている絵師で、壮年期の20年間を福井で過ごし、代表作の多くを福井で制作しました。本展では、又兵衛及び岩佐派の作品26点を紹介します。



曾我紹仙《寒山拾得図》
室町時代(16世紀)
福井県立美術館蔵 *後期展示



曾我直庵《鷹図》
桃山時代(16世紀)
福井県立美術館蔵 *後期展示



岩佐又兵衛勝以《三十六歌仙図 中務》
江戸時代(17世紀) 福井県立美術館蔵
*後期展示

第三章 近代の絵画

福井藩士の子として生まれた岡倉天心は、東京美術学校（現、東京藝術大学）の設立に尽力、のちに日本美術院を創設し、近代に入って低迷していた日本画の復興と革新に努めました。そのため、福井県立美術館では岡倉天心を顕彰し、東京美術学校や日本美術院にゆかりのある画家の作品を収集しています。

この章では、天心とともに近代日本画を推進した狩野芳崖と橋本雅邦、その教えを受けた横山大観、下村観山、菱田春草、その次の世代を担う今村紫紅、安田靉彦、前田青邨、速水御舟など、近代日本画を彩る巨匠たちの作品を紹介します。



狩野芳崖《伏龍羅漢図》
明治 18 年（1885）
福井県立美術館蔵 ＊後期展示



橋本雅邦《天保九如図》
明治 30 年頃（1897）
福井県立美術館蔵 ＊前期展示



横山大観《群鴉》
明治 42 年頃（1909）
福井県立美術館蔵 ＊後期展示



菱田春草《温麗・躑躅双鳩》
明治 34 年（1901）
福井県立美術館蔵 ＊後期展示

第四章 現代の美術

この章では福井にゆかりのある現代の美術を取り上げます。

まず、日本画に革新的な絵画表現を模索した作家として、横山操、加山又造、三上誠、星野眞吾らの代表作を紹介します。特に横山操の大画面の作品は圧巻で、見る者に強い力で迫ってくる名作です。

また福井の現代美術コレクションの独自性を物語る、「小コレクター運動」や「創造美育運動」に関連する瑛九らの作品群も、この章で紹介します。



瑛九《あそび》昭和 32 年（1957）
福井県立美術館蔵

■ 関連プログラム

■ 記念講演会

「福井県立美術館コレクションの歩み～福井の小コレクター運動を中心に～」

日 時：10月14日（土）13:30～15:00

会 場：岐阜県美術館講堂

講 師：福井県立美術館 副館長（学芸） 西村直樹氏

備 考：聴講無料、事前申込み不要、定員 170 名（先着順）

■ 記念講演会

「福井県立若狭歴史博物館のコレクションについて」

日 時：10月21日（土）13:30～15:00

会 場：岐阜県美術館講堂

講 師：福井県立若狭歴史博物館 文化財調査員 河村健史氏

備 考：聴講無料、事前申込み不要、定員 170 名（先着順）

■ ナンヤローネ アートツアー

日比野克彦アートコミュニケーション作品《Such Such Such》を体験し、展示作品の魅力を味わいます。

日 時：10月22日（日）14:00～15:30

会 場：岐阜県美術館多目的ホール 展示室 3

備 考：要事前申込み 詳細は、岐阜県美術館ウェブサイトでご確認ください。

■ 美術講座

「信仰の美術」

日 時：11月4日（土）13:30～15:00

会 場：岐阜県美術館講堂

講 師：岐阜県美術館学芸員 守屋靖裕

備 考：聴講無料、事前申込み不要、定員 170 名（先着順）

「近世・近代の美術 岩佐又兵衛と岡倉天心を中心に」

日 時：11月18日（土）13:30～15:00

会 場：岐阜県美術館講堂

講 師：岐阜県美術館学芸員 北泉剛史

備 考：聴講無料、事前申込み不要、定員 170 名（先着順）

■ 岐阜県美術館アートコミュニケーター募集イベント

「福井県美術館ボランティアと楽しむアートツアー」

日 時：11月23日（木・祝）13:30～15:30

会 場：岐阜県美術館多目的ホール、展示室 3

備 考：要事前申込み 詳細は、岐阜県美術館ウェブサイトでご確認ください。

■ ギャラリートーク

日 時：10月20日（金）18:45～19:30 11月12日（日）15:00～15:45

11月17日（金）18:45～19:30 11月26日（日）15:00～15:45

会 場：岐阜県美術館展示室 3

備 考：要観覧券、事前申込み不要

■ 同時開催

- ◆ 「季節のうつろい 夏から秋へ」
令和5年7月11日（火）～令和5年11月5日（日）
- ◆ 「ルドンコレクションから：黒との会話」
令和5年9月20日（水）～令和5年12月24日（日）
- ◆ 「アーティスト・イン・ミュージアム AiM Vol.15 トザキケイコ」
公開制作：令和5年10月11日（水）～令和5年11月5日（日）
作品展示：令和5年11月11日（土）～令和5年12月3日（日）
- ◆ 「IAMAS ARTIST FILE #09〈方法主義芸術〉—規則・解釈・(反)身体」
令和5年10月11日（水）～令和5年12月24日（日）
- ◆ 「さかのぼり岐阜洋画史 大正・明治編」
令和5年10月11日（水）～令和5年12月24日（日）
- ◆ 「林武史《石間》 安藤基金コレクションから」
令和5年10月11日（水）～令和5年12月24日（日）
- ◆ 「フォルムーやきものから」
令和5年11月14日（火）～令和6年3月3日（日）

岐阜県美術館 企画展

越山若水が育んだ美

—福井県立美術館・若狭歴史博物館名品展—

広報画像貸出申込書

FAX 送信番号:058-271-1315



貴社名		ご担当者名	
媒体名	(掲載コーナー、特集名:)		
ご住所	〒		
ご連絡先	TEL: FAX: E-mail:		

1. ご紹介いただける場合、貴媒体の情報をお知らせください。

掲載/放送	月 日 発売・放送(月号) / 発行部数 部
掲載内容	

2. 広報画像はご使用になりますか。

☐ はい 画像データ到着希望日(月 日) ☐ いいえ(写真は使用せず、文字掲載のみ)

3. 別紙の写真をご参照の上、ご希望の【画像番号】にチェック☑してください。

下記キャプションの作品名称、所蔵を必ずご記載ください。

☑	番号	ご掲載時のキャプション表記
☐	①	重要文化財 《世界及日本図》桃山時代(16~17世紀) 福井県立若狭歴史博物館蔵 *《世界図》は前期展示、《日本図》は後期展示
☐	②	重要文化財 良全《仏涅槃図》嘉暦3年(1328) 本覚寺蔵(福井県立美術館寄託) *前期展示 写真提供: 福井県立歴史博物館
☐	③	重要美術品 岩佐又兵衛勝以《三十六歌仙図 中務》江戸時代(17世紀) 福井県立美術館蔵 *後期展示
☐	④	横山大観《群鴉》明治42年(1909)頃 福井県立美術館蔵 *後期展示
☐	⑤	瑛九《あそび》昭和32年(1957) 福井県立美術館蔵

■広報画像一覧

①



②



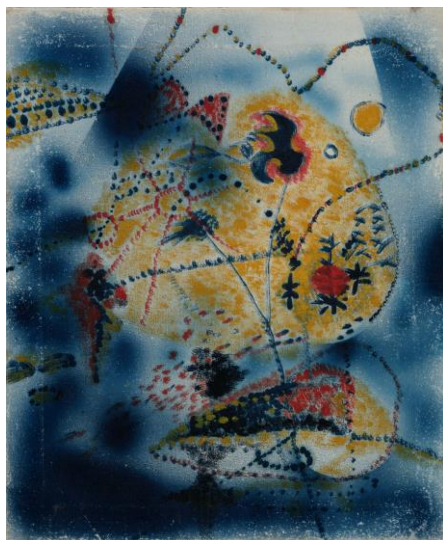
③



④



⑤



【広報画像使用に関する注意事項】

- 本展広報目的での使用に限ります。
- 展覧会名、会期、会場名は、必ず掲載してください。
- 作品画像は全図で使用してください。トリミングや文字を重ねるなどの画像の加工・改変はできません。
- 転載などの2次使用をされる場合には、別途申請いただきますようお願いいたします。
- Webサイトに掲載する場合は必ずコピーガードをしてください。
- 掲載・放送後は必ず、掲載誌・同録テープ・DVD等を、岐阜県美術館へ1部お送り願います。
- 会期中の会場取材・撮影をご希望の場合は岐阜県美術館までご連絡ください。